

### 3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)	良く なっている	－	－	－
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	販売量の動き	・消費税の関係で3月に駆け込みがあった分、4月に入ればかなり落ち込むのではないかと考えていたが、今のところ思ったほどではない。当店は学校指定の用品を扱っているもので、どうしても使わなければならない物は買っているという印象である。
		スーパー（商品 部担当）	来客数の動き	・4月前半は消費税増税の影響により厳しい状況だったが、その後は販促効果もあり、来客増及び販売量の増幅につながっている。
		コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・コンビニでは消費税増税に伴い3月にたばこのまとめ買いがあり、経営している4店共にたばこは前年比80～90%となっているが、たばこを除いた売上については、食品中心ということもあり1店を除き103～120%とあまり影響がない。増税後も既存店ベースで前年をクリアしていることから景気は若干上向きである。
		乗用車販売店 （販売担当）	販売量の動き	・2～3月は大雪の影響で落ち込んだが、今月は消費税増税後の割に中古車、新車の受注量がかかなり伸びている。恐らく2～3月に注文しなかった客が今になって注文を入れているのかと思うが、それにしても2～3か月前と比べると今月は販売量が数段伸びている。
		住関連専門店 （経営者）	お客様の様子	・3月は消費税増税前の駆け込み需要で想定以上の来店があり、販売量、販売額共に前年比145%の伸びを示したため、増税後の消費に対してはかなりの冷え込みが懸念されたが、4月の第1週の前年比75%から尻上がりに数字が回復し、現在では95%以上となってきている。景気の底堅さを実感している。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・消費税増税がどう影響するのか不安の中の1か月ではあったが、客の反応は良い方向にある。
		観光型ホテル （営業担当）	来客数の動き	・シーズンインと同時にインバウンドの客が押し寄せている。日本人観光客は全体の2割程度である。前年同月と比べても好調である。
		タクシー運転手 タクシー（役 員）	販売量の動き お客様の様子	・夜の動きもやや良くなっている。 ・歓送迎会等で、今まではアルコールを伴わない立席のみの昼の宴会が多かったが、今年は普通の夜の宴会が多数みられた。
		ゴルフ場（支配 人）	お客様の様子	・雪によるクローズもあったが、寒暖の差が大きく、朝の来場者で売店でウェアを購入する客が多かった。消費税増税による直接的な予約減も感じられなかった。
	住宅販売会社 （経営者）	お客様の様子	・今まで空室だった貸し店舗、貸事務所への引き合いが増えてきたような感じがする。特に、飲食店関係の新規出店などが目立ってきている。土地等については、安い物件への引き合いはあるものの、まだ活発な動きはない。	
変わらない		商店街（代表 者）	販売量の動き	・売上は昨年の実績を上回ったので消費税増税の悪影響はなかったと思えるが、売上そのものは相変わらず、低迷状態が続いている。
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・学校のキャンプ用品を販売しているが、前年比でみると注文がやや多くなっている。消費税が8%になったので大変心配していたが、その割にこの状況なので嬉しい限りである。
		一般小売店〔精 肉〕（経営者）	お客様の様子	・予想はしていたが今月は新入学、新入社の時期に消費税増税が重なり、店も客も戸惑っている。大型店、スーパーなどは即時値札を変更しているが、一般の店は変更できないでいる。客は値上げしていると思って足が止まっている。
		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・前月の駆け込み消費の反動が如実に表れている。前月と当月のトータルで考えると3か月前と比べて大きく変わらない。
		スーパー（経営 企画担当）	販売量の動き	・4月の第1週は10%以上の反動減があったが、徐々に回復し、セールスの効果もあって月間では前年比4%減でほぼ想定通りになっている。
		コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・本来であれば春の訪れと共に来客数、販売量が増えるはずだが、やはり4月からの消費税増税の影響であまり上向いていないので、3か月前とあまり変わらない。

家電量販店（店長）	単価の動き	・消費税増税前の駆け込みの反動で、今月の売上は前年比80%を切った結果で着地となりそうである。ただし、金額構成比の高い商品群では単価の落ち込みがなく、前年より単価が上がっているため、反動減が落ちれば景気は良くなると見込んでいる。
家電量販店（物流担当）	お客様の様子	・消費税増税後の購買行動も落ち着きを取り戻している。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・地方では高齢化が進み、新しい商品、トレンドに対する反応は鈍く、総体的に景気は上昇する要素はない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込みで前月の販売量が好調だったため、今月は反動で受注量、販売量が大きく減少している。
住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込みとその反動減の具合はまだ見極めが難しい。価格訴求に対する反応は当然ながら鈍く、不必要な購買はしていない状況である。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・消費税増税により、来客数が少なからず減少している。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・家族連れで来店してもオーダー数が少なく、あまりお金を使わない傾向があるので、客単価が良くない。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・来店客の状況から景気はやや良くなってきているようにも見受けられるが、客によって温度差が大きく、全体的に景気が良くなっているとまで言い切れない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・客が消費税増税に少し慣れてきた感はあるが、増税分の大きさも実感しているようで、動きが抑えられている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きだけでなく、販売量、単価、客や競争相手の様子いずれも当てはまるが、良くなるというイメージは1つも無い。消費税のことはとにかく、何か良くなる方法はないものだろうか。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・消費税増税による生活費の負担増が、直近のレジャー消費額の減少につながっている。しかし、一部業種では給与が上がっているため、一段落したら来客数が増えるかと期待している。
都市型ホテル（営業担当）	お客様の様子	・3か月前との比較という点、消費税増税を越えたが、客の様子としては新年度で団体の研修などの宿泊が多くなっている。ただし、これは年度始めだからであり、昨年もそのような状況はあったので、上がったとか下がったというような状況は現時点では見られない。
都市型ホテル（副支配人）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの予約状況等も、日並びが良くない関係もあるが、前年までと比べて伸びが悪い。個人客の低迷をインバウンド等の団体予約でどうにかカバーしているのが現状である。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・円安に伴う価格上昇による。
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・消費税増税で旅行商品の値上げもあって、客が減ると心配していたが、それほど落ち込まず、決して多いわけではないが、ほぼ前年並みの受注となっている。連休は暦の関係もあるのか国内旅行や近くに出かける傾向で、海外旅行は前年より少なくなっている。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税の影響による契約数の低下を懸念していたが、3～4月の動きとしては例年通りの進捗である。特に4月の反動減もなく、通信関連の業種においては、消費税増税の影響はあまり出ていない。
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・消費税増税と、ゴールデンウィークの日並びが悪いことから、来客数が減少している。
競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、1人当たりの購買単価共にそれほど変化が見られない。
その他サービス [立体駐車場] (従業員)	販売量の動き	・来客数に関しては例年より若干ではあるが上向きに転じている。しかし、単価、販売量等はすべて横ばいの状態が続いているので、変わらない。
その他サービス [イベント企画] (職員)	お客様の様子	・地方では客の動きは特に変わらない。
設計事務所（経営者）	来客数の動き	・受注量は前年よりは多いが、3か月前と比べると変わらない。
設計事務所（所長）	お客様の様子	・3か月前と比べると今月はかなり忙しい。消費税増税の影響で競合が増えたため、状況はあまり変わらない。

	設計事務所（所長）	販売量の動き	・3月決算であるが、何とか乗り切ることができたというのが実感である。ずっと悪い状況だと思っていたが、それなりの経済効果があったということだろうか。しかし、依然として厳しい状況にあることに変わりはない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が前年比85%となったが、消費税増税には関心が薄いようである。町のイベントには多くの人出があった。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・駆け込み需要のない業種であるが、消費税増税後の買い控えが顕著である。客は余分な物を買わない。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み購入の影響と、太陽光の買取価格改定等で、売上、来客数など、一変して落ち込んでいる。
	一般小売店〔青果〕（店長）	販売量の動き	・毎回同じような状況だが、客が来ても必要最低限の品物しか買わないし、来客数も減っている。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・やはり消費税増税の影響がある。駆け込み需要後の反動減がまだ続いている。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・消費税増税前に売れた化粧品をはじめとする消耗品関連の売上ダウンが顕著である。各商品とも徐々に持ち直しつつあるが、消費税増税の影響は大きい。
	百貨店（店長）	お客様の様子	・来客数、客単価共に悪くなっている。少数であるが、高品質、高単価商材を購入する客がいる。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・予想どおりであるが、消費税増税の駆け込み需要後ということもあり、来客数が非常に減っている。さまざまなセールを打っているが、いつもより効果が薄い。売上も前年比80%ぐらいである。
	スーパー（統括）	販売量の動き	・月初は前年同期比で20%ほどダウンしたものの、15日過ぎから食品はほぼ前年並みで累計98%台まで戻している。衣料品は93%前後と厳しい状況が続いている。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・車が反対車線から入れなくなったので、来客数が激減している。酒、たばこ、雑誌が特に悪い。
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・消費税増税で客の買上点数が減り、客単価が下がっている。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・今月は消費税増税により若干売上が落ちると思っていたが、想定以上に落ち込みが激しく、厳しい状況である。
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・消費税増税による駆け込み需要の反動減が予想どおり表れている。車検等の入庫は定期的な要素があるが、4月中の車検でも増税前の3月中に入庫する客が多かったため、今月は厳しい状況である。また、当県では企業の給料増という話は聞かれず、むしろ工場の閉鎖や縮小といった話題が出てきている。
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・消費税増税の影響だと思うが、自動車に関しては乗れるだけ乗って、どうしても使えなくなった時点で購入を考えるとという客が増えてきている。
	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・消費税増税となり、やはり販売の動きが低下しており、来客数も減少している。
	高級レストラン（店長）	来客数の動き	・消費税増税の影響で、ランチタイムのサラリーマンやOL客が激減している。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・消費税増税の影響はそれほどではないと思うが、来客数が戻らない。増税に伴って一部商品を値上げしているが、値上げしていない物と売行きにそう違いはないように思うし、客も値上げについては理解してくれているようである。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・4月に入り消費税が上がったところで、やはり飲食関係は今までと変わって来客数が少なくなっている。単価についても、一般消費者である客は消費税8%に抵抗があるので、売上がやや落ちている。
	旅行代理店（所長）	販売量の動き	・当然ながら、消費税増税による3月までの駆け込み消費の反動減があり、4月の客の動向は至極鈍い。ただし、外国人旅行者は増えていると感じている。
	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・4月からの消費税増税が旅行需要にかなり影響しているようである。
タクシー（経営者）	お客様の様子	・月初めより全体的に動きが悪く、前年同月と比べて4%の減収である。	
通信会社（経営者）	お客様の様子	・新規加入が低調であると共に解約も続いている。	
ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・消費税増税の影響で、前年と比べても動きが鈍くなっている。	

		美容室（経営者）	競争相手の様子	・消費税が上がっても忙しい店と暇な店の格差は大きくなっている。多くの固定客を持っている店は忙しく、ほとんどの個人店はさほど忙しくない状況である。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・消費税が上がったため、4月1日から来客数がぐっと減っている。1日平均20人のところ、たった2人の来店で大変驚いている。月の前半は少なめ、後半は平均に近付いたが、増税の影響は想像以上である。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・消費税増税1か月で、住宅は高額商材なのでやはり消費の冷え込みが感じられる。問い合わせも少ない。
悪くなっている		一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・4月は時期的に制服販売が良かったが、それが終わると極端に流れが変わり、悪くなっている。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・消費税増税の影響は3月の駆け込み、4月の増税月、共に予想より大きかった。特に4月は、宝飾をはじめとする高額品はもちろんのこと、化粧品や日用品で置き置きできる商品群の不振が大きかった。
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・消費税増税後、価格競争が激化している。
		スーパー（店長）	単価の動き	・いよいよ増税になり、売上が急落となったが、生鮮食品を中心に第2週目ぐらいから売上自体は戻りつつある。日用雑貨など、買いだめのあった商品に関しては全く不振なので、これが消費され尽くされれば戻ってくる。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・売上が前年比93%、来客数はどうにか101%を維持している。客がお金の使い方に非常に気を使っている。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・消費税増税の影響で来客数が激減している。今月は年金支給月なので若干期待をしていたが、残念ながら相当期待外れで、かなりひどい状態になっている。売上に結び付かないという以前に客が来なくなってしまう。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要の反動減で、3月から受注減が続いている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・車の販売及びサービス工場併設の店舗であるが、今月はとにかく悪い。3か月前は良かったが、3割～4割減の話ではなく、今月は6～7割減少という状況である。サービスの在庫も少なく、車の販売も悪い。
		乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要の反動で、販売台数は大幅に減少している。
		乗用車販売店（統括）	来客数の動き	・消費税増税による駆け込み需要が3月で終了し、新規販売が激減している。
		住関連専門店（店長）	販売量の動き	・消費税が増税され、売上は前年の90%となっている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・旅館業界は消費税増税により5%程度売上が落ちている。また、ゴールデンウィークの日並びが悪く、この影響で20%、合計25%程度は売上が下がっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・4月初旬は歓迎会等などがあり、消費税増税などあまり影響がないかと感じていたが、中旬以降、月末も全く動きがなくなってしまった。営業等で地方に来た人が、今まではタクシーを利用していたが、レンタカーを使うようになっていく。タクシー代の半額以下で借りられるそうである。
		通信会社（経営者）	競争相手の様子	・4月だけで競合していた3社が倒産、もしくは代位弁済した。話聞く限り、この状況はまだ続く。
企業動向関連 (北関東)	良くなっている	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・太陽光発電について、会社の屋根等とは別に市内外7か所に2万坪の敷地を一昨年より購入し、3月下旬より1か所目の2,300坪の発電が完成、増設は別で約50キロワット、大手電力会社との20年間の連携が開始となった。最初の1か月間で300万円超えになり、来年の10月までに4,000キロワット超えの見込みである。
	やや良くなっている	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・1月までがあまりに悪かったため、原材料の手配を控えてきた。ここにきて急激に受注量が増えてきたが、材料不足のために思うように生産ができず、取引先から納期が遅すぎるとのクレームが続出している。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・全体が忙しくなっている状況とは言えないが、今まで動きが出ていなかった仕事が少しずつ動き出しつつある。久しぶりに連絡をもらったという取引先がいくつか出てきている。	

	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・受注量、販売量の動き、取引先の様子はこの2か月くらいまあまあの状態なので、やや良くなっている。
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・大手自動車メーカーの3か月見通しでは、4月の消費税増税での反動で4～5月は大幅に落ち込んでいるが、非常に高水準の中での落ち込みなので、フル生産が続いている。原材料やエネルギー関係で燃料代などが上がっており、増収減益の状況になってはいるが、なんとか落ち着いているという状況である。
	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・建設業であるが、公共工事はアベノミクス効果で前年比10%増の発注額である、ただし、直近1か月の発注額は前年の半分となっており、ここにきて今後の発注額が心配な状況である。当社も受注額は前年比10%増の状況なので、今のところは満足である。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、受注量共に増加傾向にある。消費税増税の影響はあまり見受けられない。
変わらない	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税の影響は思ったほどではない。
	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・観光客の数、売上額共に前月よりやや回復しつつあるが、前年同期と比較するとほとんど差がない。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・良くもなければ悪くもない状態である。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一段とコスト引き下げの要請が多く、厳しい状態が変わらない。良い企業と悪い企業が二極化している。
	精密機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3月は決算月でもあり、公的機関への大口納品により相応の販売量を確保できた。しかし4月に入り、売上、受注量共に落ち込み、3か月前と特に変わらず厳しい状況となっている。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	取引先の様子	・消費税増税によって3月に駆け込み需要があった分、4月の売上は減少している。しかしながら小売店はそれほど影響を受けていない。3～4月の2か月間でみると前年並みである。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・4月に入り天候も良く、インターネット通販やホームセンター向けのバーベキュー用品、特に墨、コンロ等のレジャー用品の物量が大変増え、前年を10%を上回っている。ただし、原油高による燃料コスト上昇があり、利益は薄くなっている。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・消費税増税前の駆け込み需要があったが、景気が良くなったとは感じない。
	金融業（役員）	受注量や販売量の動き	・業種が限られている。自動車、建設、医療、介護、この部門だけで他は変わらない。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・広告宣伝の受注は前年と変わらない。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・建設関連にわずかな動きが見られる程度であり、企業の取引活動に特に大きな変化はみられない。消費税増税後の落ち込み等についても織り込み済みで、ほとんど切迫感を感じられない。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・業務の中に建物の登記があるが、やはり消費税増税の影響を受けているので、少し上向きつつあったのが、やや元に戻りつつあるという段階である。
	社会保険労務士	取引先の様子	・オリンピック関連で東京のビルの解体工事を請負うなど忙しい業種が一部あるが、全体的に大きな動きはない。
やや悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・消費税増税や原料高騰を受けた規格変更で、1割くらい消費が冷え込んでいる。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・やはり消費税増税の関係なのか、4月の半ばからぐっと減速し、2割くらい売上が落ち込み始めている。回復するのは秋口かと思うので、それまでは辛抱かと思う。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税の影響なのか、取引先の生産が下降気味である。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・時期的に閑散期ではあるものの、それを考慮しても、例年より発注もなければ、仕事もない状況である。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・消費税増税での反動減の影響がみられる。
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・従来と同じ条件では管理契約の更新ができない物件がある。

		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は前年比89.7%となっている。自動車、家具、衣類関連はじめ、ほとんどの業種で折回数、枚数、サイズ、色数等減少している。生活必需品である食品スーパー関連でも減少している店がある。
	悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税後は受注量、販売量共に激減している。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・今年度の建物設備定期点検の頻度を削減されるケースが増えている。
雇用 関連  (北関東)	良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・このところ好調で、12～13年ぶりに売上が元に戻っている。これが長く続けば良い。
		人材派遣会社（支社長）	採用者数の動き	・直接雇用の意識が強く、採用に対する前向きな依頼が多い。
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業、特に金属、機械関連の求人が増加傾向にある。
	変わらない	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人をつねに引する製造業の一部企業において、受注増、新製品開発など、採用に若干の明るさが見え始めたが、大手製造業1社で数百人のリストラが始まり、労働市場が混乱し始めている。
		学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・3月末の求職者の採用率は例年どおりであり、求人市場の状況に変化はない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・土木建築等の建設関係は年度末から引き続き工事が遂行されている。自動車部品関係、電機等の製造業は新年度を迎えたこともあり、求人数は落ち着いている。ガソリン価格等の上昇、消費税の増税などから、小売全般は幾分引いているようにみられる。
		人材派遣会社（管理担当）	雇用形態の様子	・最近、半年の派遣契約が2か月更新へ変更するなど、短期の派遣業務形態への移行がみられる。
		求人情報誌制作会社（経営者）	周辺企業の様子	・4月の消費税増税により小売業全般の売上が低迷、パートやアルバイトなどの募集も前月と比べると少なくなっている。今後も積極的に求人をする企業はあまり望めない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・消費税増税の影響で広告の解約が出ている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業などでは求人数が伸びているが、小売業の求人は消費税増税の影響を受けて減少している。
悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・昼食時、消費税増税で便乗値上げをした店舗には驚くほど客が入っていない。財布の中身は変わっていない。	